週刊民商ニュース　ＮＯ，545/2013/7/16（１面）部内資料全国商工新聞付録

GEKIMIN

元気な民商ニュース

ＮＯ，５４５
発行:北区民主商工会
住所:北区豊島２-１３-７
電話 3913−6632
FAX 3913−6741

商工新聞の読みどころ▼不当な差し押さえから…1 面▼商売繁盛…1 面▼私たちの主張…2 面▼増税中止の意見書採択…2 面▼ TPP…3 面▼お店つぶさないで…3 面▼商売繁盛で地域明るく…4 面▼消費税増税必ず中止に…5 面▼ヘリパット作らせぬ…7 面▼視点…7 面▼映画…7 面

ホームページ http://www3.kitanet.ne.jp/~kitamins/index.html　Eメール kitamins@ma.kitanet.ne.jp

署名集めにご協力をお願いします

今年2月に行われた、北区高齢者集会で講師を務めて下さった菅野みずえさん。福島で避難所生活を送りながら、福島と子どもたちの未来を考え、活動を続けておられます。

今回、地下水の汚染が数日ニュースに取り上げられていますが、現地では東京電力によるところの「汚染水でないもの」と称する水を、海に排出するべくパイプ設置工事が海まで進んでいるそうです。漁協組合員の怒りから一時ストップになっているそうですが、予断を許さない状況にあります。署名の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力をお願いいたします。

お便り紹介

福島浜通り
ばっぱ有志一同

ひまわりが風に葉をそよがせる頃となりました。皆様お元気ですごしのこととお喜び申し上げます。

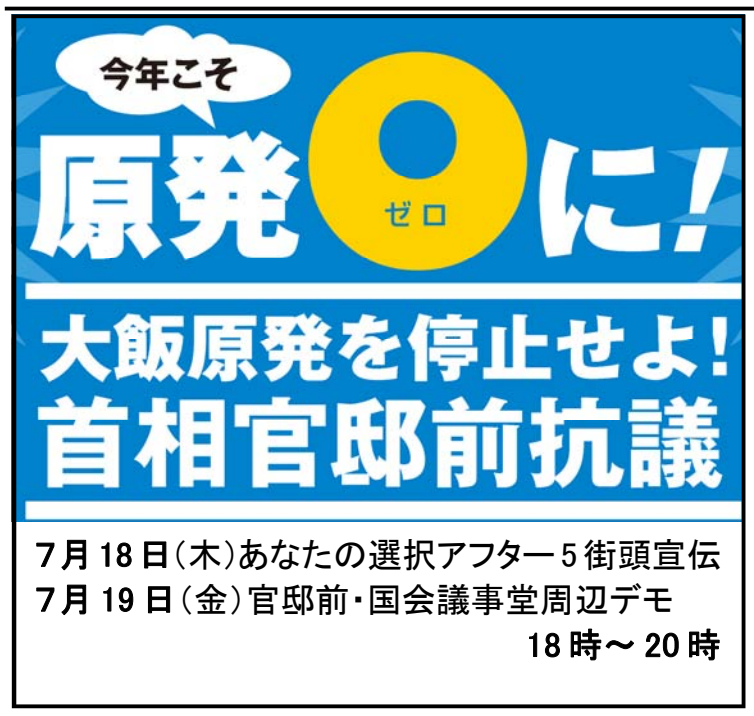
２０１１年３月以降、福島浜通りに暮らしていたわたし達は子や孫の世代の健康のことが気がかりに避難生活をおくっています。あれから福島第一原発は、融けた燃料棒が何処にあるかさえ分かっていないのは国も認めています。高い線量のなか近づくことさえできないのにどうして収束など宣言できるのでしょう。故郷を自分たちで守るのだと収束作業に地元の人々が沢山出て下さっています。避難して仮設から原発に通っている人も居ます。その方たちの命と健康を国と東電は大切にしてほしいと切に願います。

その東電は海へ「汚染されていない地下水」を放出させようとしています。地下水が日に何百トンも流れ込むと言います。わざわざ掘り下げて海抜以下になっている原発ですから、地下水だけなのか海からの逆流なのかも実際分ってはいないのです。仮に汚染されていないとして、原発建屋から８０～２００ｍの至近距離で汲み上げて流すということが本当に汚染されないのか不安でなりません。水の調査は東電の下請けがしており、信頼できる調査かどうか、これまでの避難生活で東電を信頼できないと身を持って経験させられているわたし達は不安でなりません。「地下水」を皮切りにＡＬＰＳという多くの核種除去装置を稼働させ冷却に要した汚染水を「きれい」にして海へと放出させようとしていますが、東電でさえトリチウムは除去できないと言っています。世界の英知を結集させ除去できるようになるまで、溜めて置く以外安全は保障できない。それが原子力発電のリスクと言うことなのです。

トリチウムの危険はすぐに現れるわけではありません。わたし達や子の世代は何ともなくても、孫やひ孫が子育てをするときに安心して子育てが出来ない暮らしが待っています。わたし達は中間点にいます。祖父母や親から受け継ぎ子や孫に受け渡していく。そのわたし達が負の遺産を渡すわけにはいかないのです。「その時ばっぱはわたし達のために何もしてくれなかったの？黙って見ていたの？」それだけは言われてはならないと、この署名を立ち上げました。

沢山のばっぱ達が呼びかけ人になろうとしてくれましたが、浜通りは東電に働く身内が多く、迷惑はかけられないと、呼びかけ人に残ったのはこれだけですが、思いはこれだけの人数に留まりません。

福島原発から出ている汚染水の放射性物質は恐ろしい濃度です。海は世界へと通じています。福島県沖には豊かな海流が流れています。魚は福島から来たと名札を付けてはおらず名乗ることもありません。小魚は大きな魚の餌となりさらに大きな魚の餌となります。海の産物が汚染され遺伝子に傷を付け、やがては食卓に上るでしょう。浜通りのばっぱの不安は世界中に知らず蔓延していくのです。そうなるまえに何とか出来ることをしたい。切に願っての署名です。どうかご協力をお願いいたします。みなさまのご健康を願っています。そして、ご協力いただけることに感謝と敬意を表します。



原水禁大会in長崎

8月7日～9日迄

今年は私が行ってきます!!

沼田勝巳さん：豊島支部

参加募金・グッズ販売にご協力ください

バッジ…３００円
ポスター…１００円
パンフ…３００円

宜しくお願いします

福島第一原子力発電所の地下水・汚染水の海への放出に反対する署名

内閣総理大臣様
衆議院議長様
参議院議長様

【請願趣旨】
◆今東京電力は福島第一原子力発電所建屋に流れ込む前の地下水と、冷却に要した汚染水を海に放出しようとしています。しかし、その地下水をくみあげる井戸は原発建屋から８０～２００メートルしか離れていません。また水質検査の数値も二転三転しています。
◆東京電力は「ＡＬＰＳ」（多核種除去設備）を稼働させ、放射性物質を限りなく取り除くと言いますが、この装置でもトリチウムは取り除くことはできません。トリチウムはとりわけ水素に酷似しており、容易に酸素と結合して水となり、β線を出し続けると警告されています。水になったトリチウムの回収は不可能です。それが海の動植物に取り込まれて遺伝子を傷つけ、やがて食を通じて人の体内に取り込まれることで、ヒトの遺伝子を傷つけることも予測されています。
◆海は世界へと繋がっています。国際的に信頼を失うことのないよう、海への放出は慎重に考えるべきです。
　以上を踏まえて私たちは福島第一原子力発電所からのいかなる水も、海に放出しないことを求めます。
【請願項目】
一、日本政府は福島第一原発事故からの収束を一企業である東京電力任せにせず、日本の国の危機と捉え、国の責任において世界の英知を集めてすべての収束作業を行うこと。
一、福島第一原子力発電所の地下水・汚染水を海に放出しないこと。

『呼びかけ人』福島浜通りの女性有志
　いわき市平　伊東道子　　楢葉町　早川千枝子　　南相馬市小高　渡部チイ子
　浪江町　門馬昌子　馬場靖子　菅野みずえ

氏　名	住　　所

連絡先　〒969-1606 福島県伊達郡桑折町東段３０　応急仮設住宅Ｃ14-5　菅野みずえ